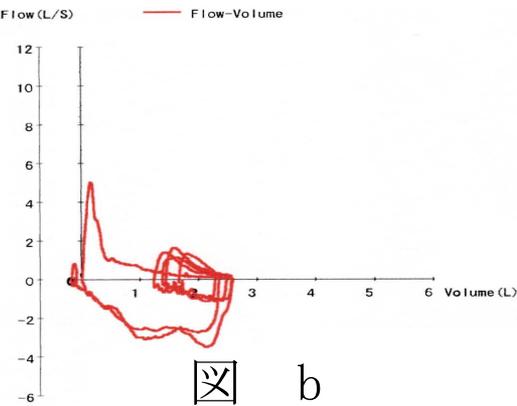
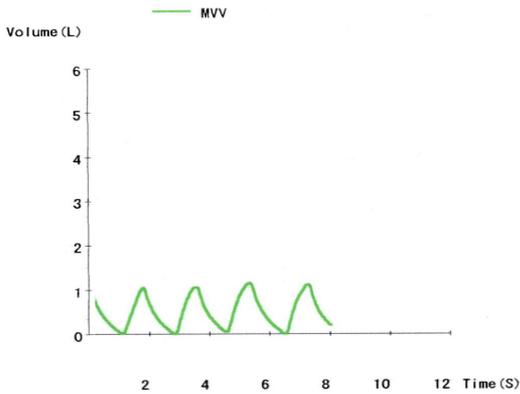


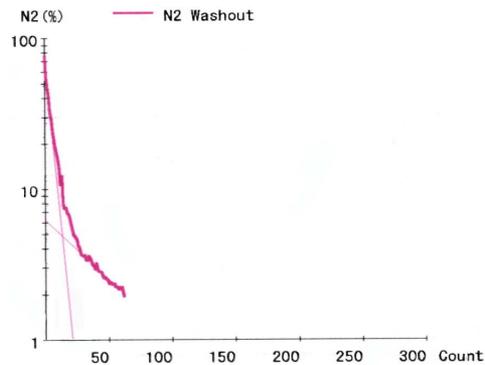
☒ a



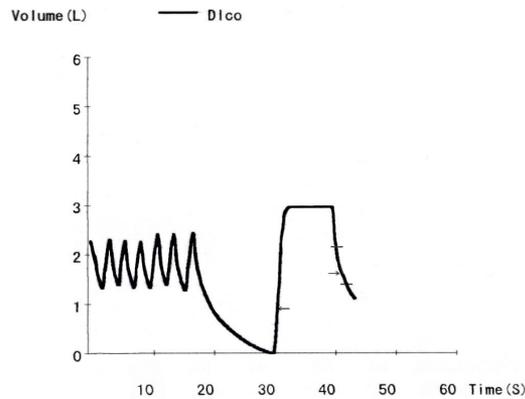
☒ b



☒ c



☒ d



☒ e

	測定値	%予測値
肺活量 (L)	2.73	93.1%
1回換気量 (L)	1.06	
予備吸気量 (L)	1.39	
最大吸気量 (L)	2.44	
努力性肺活量 (L)	2.57	83.0%
一秒量 (L)	1.08	46.8%
一秒率 (%)	42.0	
FEV1.0/VC.p (%)	36.8	
最大呼気流量 (L/s)	5.03	60.6%
・50 (L/s)	0.36	9.0%
・25 (L/s)	0.15	17.8%
残気量 (L)	3.41	139.6%
機能的残気量 (L)	3.70	109.7%
全肺気量 (L)	6.14	109.4%
RV/TLC (%)	55.5	
CO肺拡散能 (ml/min/mmHg)	8.58	65.0%
CO肺拡散能' (ml/min/mmHg)	7.66	58.0%
DLco/VA (ml/min/mmHg)	2.30	56.9%

表

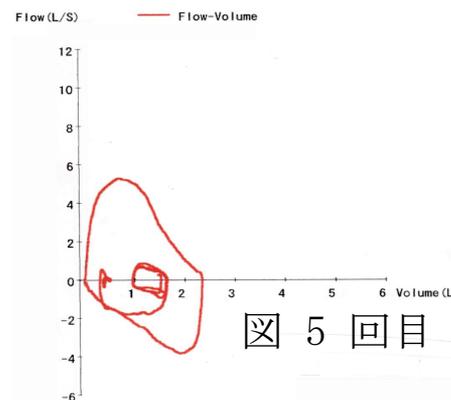
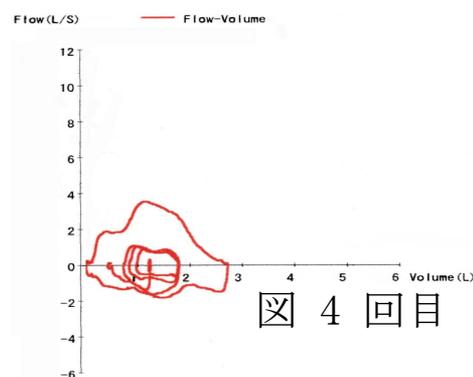
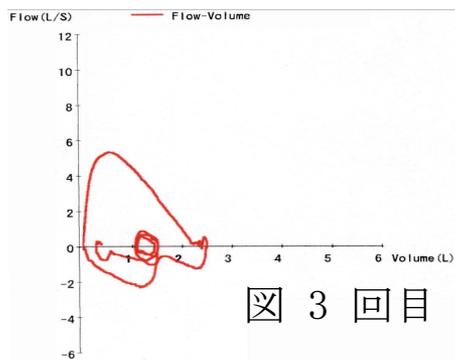
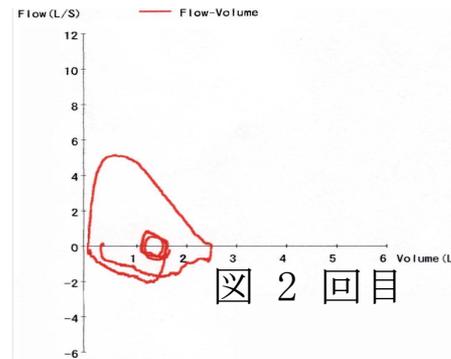
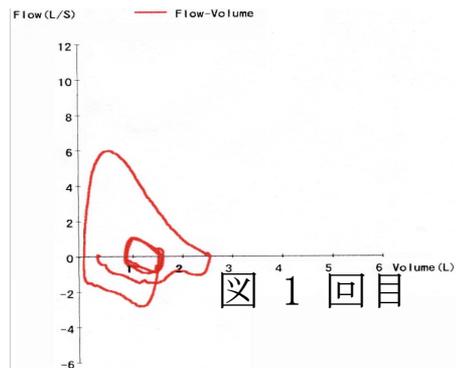
問題7

82歳男性（身長：159.2cm、体重：65.0kg）の入院中に行ったスパイロメトリーの結果の☒a～eと表に示す。この結果より最も考えられる疾患を選べ。

1. 肺繊維症
2. 気管支喘息
3. 横隔膜神経麻痺
4. 肺気腫
5. 胸水貯留を伴う胸膜炎

問題8 30歳女性（身長156cm、体重55kg）が努力性肺活量（FVC）測定を5回行ったときのフローボリューム曲線と測定値の結果を図と表に示す。5回の測定の中で、採用する結果はどれか。

1. 1回目
2. 2回目
3. 3回目
4. 4回目
5. 5回目



	①	②	③	④	⑤
努力性肺活量(L)	2.54	2.48	2.47	2.71	2.35
1秒量(L)	2.23	2.29	2.17	2.35	2.27
1秒率(%)	87.8	87.0	87.9	86.7	96.6
FEV1.0/VC.p(%)	76.2	78.3	74.2	80.3	77.6
・50(L/s)	3.35	3.89	3.66	3.31	4.54
・25(L/s)	1.13	1.71	1.42	1.43	1.81

表

問題9 肺機能検査を行う際の感染対策の知識として、正しい組み合わせはどれか。

- a. 感染を防止する為、空気の出入りの少ない部屋で検査をする。
- b. フィルターを使用するとPEFRが低下するので、感染疾患のある患者さまを検査する時だけフィルターを使用するとよい。
- c. 一人検査を終える毎に、ベルを5回以上フラッシュする。
- d. 検査室はなるべく換気をよくし、日光を入れる。
- e. ローリングシールのような閉鎖型は、患者さまへの二次感染の可能性は低い。

1. a, b 2. b, c 3. c, d 4. d, e 5. a, e